



Ethernet over MPLS

Ethernet-over-MPLS (EoMPLS) は、MPLS 対応、レイヤ 3 コアを通じてイーサネットトラフィックのトンネリングメカニズムを提供し、（ラベルスタックを使用して）イーサネットプロトコルデータユニット（PDU）を MPLS パケット内部にカプセル化して、それらを MPLS ネットワーク経由で転送します。

次の項では、EoMPLS を実装するさまざまなモードについて説明します。

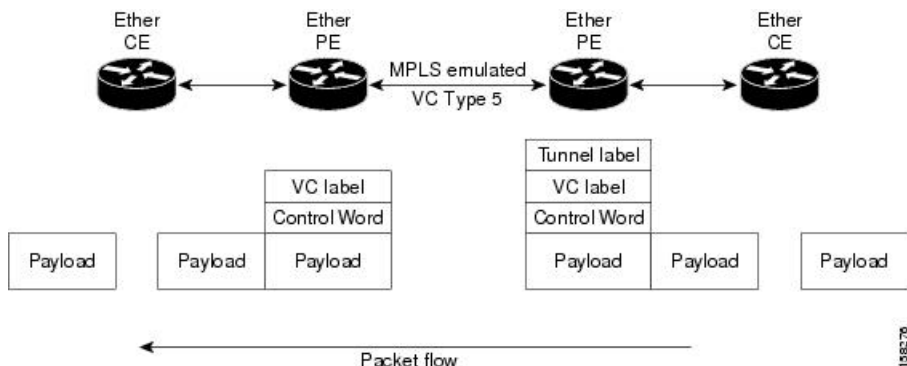
- [イーサネットポートモード（1 ページ）](#)
- [VLAN モード（2 ページ）](#)
- [QinQ モード（3 ページ）](#)
- [接続回線間のローカルスイッチングの設定（3 ページ）](#)
- [クロスコネクト回線を使用したスタティックポイントツーポイント接続の設定（8 ページ）](#)
- [フレキシブルクロスコネクトサービス（10 ページ）](#)
- [フレキシブルクロスコネクトサービスサポート対象モード（12 ページ）](#)
- [L2VPN での仮想回線接続検証（26 ページ）](#)

イーサネットポートモード

イーサネットポートモードでは、疑似回線の両端がイーサネットポートに接続されます。このモードでは、ポートが疑似回線を介してトンネル化されるか、またはローカルスイッチング（接続回線から接続回線へのクロスコネクトと呼ばれる）を使用して、1つの接続回線（AC）から同じ PE ノードに接続されている別の AC にパケットまたはフレームを切り替えます。

次の図に、イーサネットポートモードのパケットフローの例を示します。

図 1: イーサネットポートモードのパケットフロー

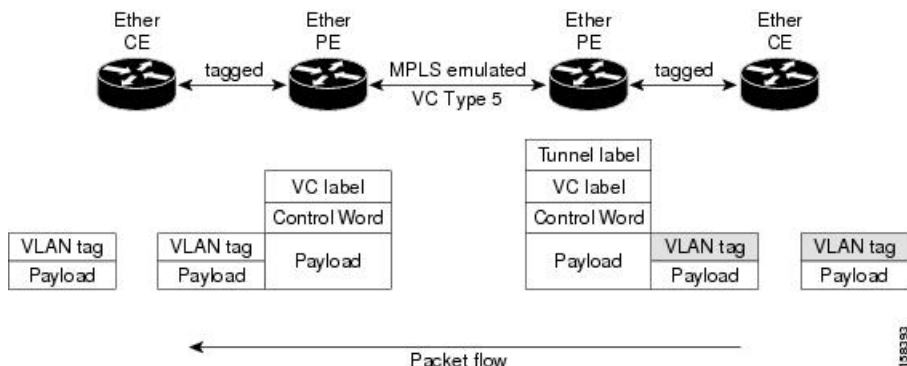


VLAN モード

VLANモードでは、カスタマー側とプロバイダー側のリンクで、各VLANは、仮想接続（VC）タイプ4またはVCタイプ5を使用して個別L2VPN接続として設定できます。VCタイプ5がデフォルトモードです。

次の図に示されているように、イーサネットPEは、入力ポートから疑似回線にトラフィックを内部的に切り替えるために、イーサネットポートに内部VLANタグを関連付けます。ただし、疑似回線にトラフィックを移動する前に、内部VLANタグを削除します。

図 2: VLANモードのパケットフロー



出力VLAN PEでは、PEは、疑似回線から到着するフレームにVLANタグを関連付け、トラフィックを内部的に切り替えた後、イーサネットトランクポートにトラフィックを送信します。



(注) ポートがトランクモードであるため、VLAN PEはVLANタグを削除せず、追加されたタグを持つポート経由でフレームを転送します。

QinQ モード

QinQ は、複数の 802.1Q タグ（IEEE 802.1QinQ VLAN タグ スタッキング）を指定するための 802.1Q の拡張です。レイヤ 3 VPN サービス終了および L2VPN サービス転送は、QinQ サブインターフェイスではイネーブルです。

Cisco NCS 500x シリーズルータは、プロバイダー エッジルータでのサブインターフェイスの設定に応じて、レイヤ 2 トンネリングまたはレイヤ 3 転送を実装します。この機能は、ルータ上の最大 2 つの QinQ タグのみをサポートします。

- L2VPN 接続回線のレイヤ 2 QinQ VLAN : QinQ L2VPN 接続回線は、仮想回線タイプ 4 とタイプ 5 の両方の疑似回線を使用して、ポイントツーポイント EoMPLS ベースのクロスコネクト用と、802.1q VLAN およびポートモードでの QinQ の完全なインターワーキングのサポートなど、ポイントツーポイント ローカルスイッチングベースのクロスコネクト用のレイヤ 2 転送サブインターフェイスで設定されます。
- レイヤ 3 QinQ VLAN : レイヤ 3 の終端ポイントとして使用されます。VLAN はいずれも入力プロバイダーエッジで削除され、フレームが転送されるときリモートプロバイダーエッジで追加され戻されます。

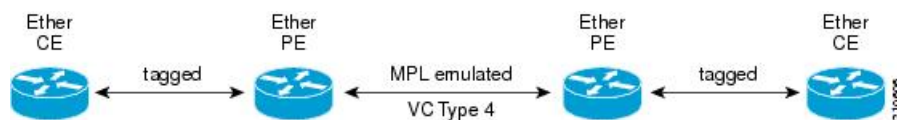
QinQ 上のレイヤ 3 サービスは次のとおりです。

- IPv4 ユニキャストおよびマルチキャスト
- IPv6 ユニキャストおよびマルチキャスト
- MPLS
- Intermediate System-to-Intermediate System (IS-IS) で使用されるコネクションレス型ネットワーク サービス (CLNS)

QinQ モードでは、各 CE VLAN は SP VLAN 内に伝送されます。QinQ モードでは VC タイプ 5 を使用する必要がありますが、VC タイプ 4 もサポートされます。各イーサネット PE では、内部（CE VLAN）と外部（SP VLAN）の両方を設定する必要があります。

次の図に、VC タイプ 4 を使用した QinQ を示します。

図 3: QinQ を介した EoMPLS モード



接続回線間のローカルスイッチングの設定

ローカルスイッチングでは、1 つの接続回線（AC）から別の AC へと、同じルータ上の同じタイプの 2 つのインターフェイス間で L2 データの交換が行われます。ローカルスイッチング接続で設定されている 2 つのポートで接続回線（AC）を形成します。ローカルスイッチング

接続の動作は、2つのブリッジポートしかないブリッジドメインの動作と似ており、トラフィックはローカル接続の一方のポートに入り、もう一方のポートを通じて出て行きます。

レイヤ2 ローカルスイッチングには次のような特性があります。

- レイヤ2 ローカルスイッチングでは、レイヤ3 IPアドレスの代わりにレイヤ2 MACアドレスを使用します。
- ローカル接続に関するブリッジングがないため、MAC学習やフラッディングはありません。
- ブリッジドメインとは異なり、インターフェイスの状態がDOWNの場合、ローカル接続のACはUP状態ではありません
- ローカルスイッチングACは、レイヤ2 トランク（メイン）インターフェイス、バンドルインターフェイス、EFPなど、多種多様なレイヤ2 インターフェイスを使用します。
- 同一ポートのローカルスイッチング機能を使用すると、同じインターフェイス上の2つの回線の間でレイヤ2 データをスイッチングできます。

機能制限

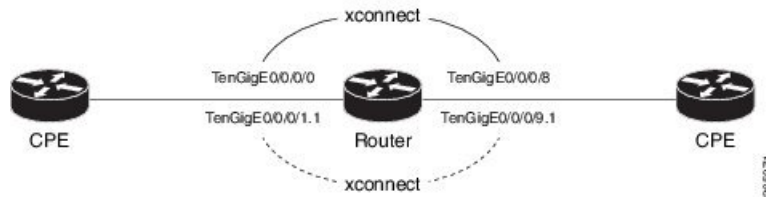
- 所定の物理ポートにあるすべてのサブインターフェイスは、次のような2つのタグプロトコル識別子（TPID）のみをサポートしています。
 - 0x88a8、0x8100
 - 0x9100、0x8100
 - 0x9200、0x8100
- VLAN および TPID ベースの入力パケット フィルタリングはサポートされていません。
- 出力 TPID の書き換えはサポートされていません。

トポロジ

接続回線（AC）は、カスタマー エッジ（CE）ルータをプロバイダー エッジ（PE）ルータにバインドします。PE ルータは MPLS ネットワークを介して疑似回線を使用し、リモート PE ルータとルートを交換します。レイヤ2 VPN でポイントツーポイント接続をカスタマー エッジ（CE）ルータから別のルータ（リモートルータ）に確立するには、接続回線を疑似回線にバインドするメカニズムが必要です。接続回線を疑似回線にバインドしてレイヤ2 VPN でのポイントツーポイント接続をエミュレートするには、クロスコネクタ回線（CCC）を使用します。

設定には次のトポロジを使用します。

図 4: 接続回線間のローカルスイッチング



設定

AC-AC ローカルスイッチングを設定するには、次の設定を実行します。

- メインインターフェイス上でレイヤ 2 転送を有効にします。
- L2 転送を有効にしたサブインターフェイスを作成し、それぞれに対して個別のカプセル化を指定します。
- メインインターフェイス間およびサブインターフェイス間のローカルスイッチングを有効にします。
 - クロスコネク トグループを設定します。
 - ポイントツーポイントクロスコネク ト回線 (CCC) を作成します。
 - インターフェイスをポイントツーポイントクロスコネク トグループに割り当てます。

```

/* Enter the interface configuration mode and configure
   L2 transport on the TenGigE interfaces */
Router# configure
Router(config)# interface TenGigE 0/0/0/1 l2transport
Router(config-if-l2)# no shutdown
Router(config-if)# exit
Router(config)# interface TenGigE 0/0/0/9 l2transport
Router(config-if-l2)# no shutdown
Router(config-if-l2)# commit

/* Configure L2 transport and encapsulation on the VLAN sub-interfaces */
Router# configure
Router(config)# interface TenGigE 0/0/0/0.1 l2transport
Router(config-subif)# encapsulation dot1q 5
Router(config-subif)# exit
Router(config)# interface TenGigE 0/0/0/8.1 l2transport
Router(config-subif)# encapsulation dot1q 5
Router(config-subif)# commit

/* Configure ethernet link bundles */
Router# configure
Router(config)# interface Bundle-Ether 3
Router(config-if)# ipv4 address 10.1.3.3 255.0.0.0
Router(config-if)# bundle maximum-active links 32 hot-standby
Router(config-if)# bundle minimum-active links 1
Router(config-if)# bundle minimum-active bandwidth 3000000
Router(config-if)# exit

Router(config)# interface Bundle-Ether 2

```

```

Router(config-if)# ipv4 address 10.1.2.2 255.0.0.0
Router(config-if)# bundle maximum-active links 32 hot-standby
Router(config-if)# bundle minimum-active links 1
Router(config-if)# bundle minimum-active bandwidth 30000000
Router(config-if)# exit

/* Add physical interfaces to the ethernet link bundles */
Router(config)# interface TenGigE 0/0/0/1
Router(config-if)# bundle id 3 mode on
Router(config-if)# no shutdown
Router(config)# exit
Router(config)# interface TenGigE 0/0/0/2
Router(config-if)# bundle id 3 mode on
Router(config-if)# no shutdown
Router(config)# exit
Router(config)# interface TenGigE 0/0/0/9
Router(config-if)# bundle id 2 mode on
Router(config-if)# no shutdown
Router(config-if)# exit
Router(config)# interface TenGigE 0/0/0/8
Router(config-if)# bundle id 2 mode on
Router(config-if)# no shutdown
Router(config-if)# exit

/* Configure Layer 2 transport on the ethernet link bundles */
Router(config)# interface Bundle-Ether 3 l2transport
Router(config-if-l2)# no shutdown
Router(config-if)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether 2 l2transport
Router(config-if-l2)# no shutdown
Router(config-if-l2)# commit

/* Configure local switching on the TenGigE Interfaces */
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# xconnect group XCON1
Router(config-l2vpn-xc)# p2p XCON1_P2P3
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# interface TenGigE0/0/0/1
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# interface TenGigE0/0/0/9
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# commit
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# exit

/* Configure local switching on the VLAN sub-interfaces */
Router(config-l2vpn-xc)# p2p XCON1_P2P1
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# interface TenGigE0/0/0/0.1
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# interface TenGigE0/0/0/8.1
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# commit
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# exit

/* Configure local switching on ethernet link bundles */
Router(config-l2vpn-xc)# p2p XCON1_P2P4
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# interface Bundle-Ether 3
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# interface Bundle-Ether 2
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# commit

```

実行コンフィギュレーション

```

configure
interface tenGigE 0/0/0/1 l2transport
!
```

```

interface tenGigE 0/0/0/9 l2transport
!
!

interface tenGigE 0/0/0/0.1 l2transport
encapsulation dot1q 5
rewrite ingress tag push dot1q 20 symmetric
!
interface tenGigE 0/0/0/8.1 l2transport
encapsulation dot1q 5
!
interface Bundle-Ether 3 l2transport
!
interface Bundle-Ether 2 l2transport
!

l2vpn
xconnect group XCON1
p2p XCON1_P2P3
interface TenGigE0/0/0/1
interface TenGigE0/0/0/9
!
!
!
l2vpn
xconnect group XCON1
p2p XCON1_P2P1
interface TenGigE0/0/0/0.1
interface TenGigE0/0/0/8.1
!
!
!
l2vpn
xconnect group XCON1
p2p XCON1_P2P4
interface Bundle-Ether 3
interface Bundle-Ether 2
!
!
!

```

確認

- 設定されたクロスコネクが動作しているかどうかを確認します

```
router# show l2vpn xconnect brief
```

```
Locally Switching
```

Like-to-Like	UP	DOWN	UNR
EFP	1	0	0
Total	1	0	0
Total	1	0	0

Total: 1 UP, 0 DOWN, 0 UNRESOLVED

```
router# show l2vpn xconnect
```

```
Legend: ST = State, UP = Up, DN = Down, AD = Admin Down, UR = Unresolved,
        SB = Standby, SR = Standby Ready, (PP) = Partially Programmed
```

XConnect Group	Name	ST	Segment 1 Description	ST	Segment 2 Description	ST
XCON1	XCON_P2P1	UP	Te0/0/0/1	UP	Te0/0/0/9	UP
XCON1	XCON_P2P3	UP	Te0/0/0/0.1	UP	Te0/0/0/8.1	UP

関連コマンド

- [interface \(p2p\)](#)
- [l2vpn](#)
- [p2p](#)
- [xconnect group](#)

クロスコネクト回線を使用したスタティック ポイントツーポイント接続の設定

この項では、レイヤ2 VPN にスタティック ポイントツーポイント クロス コネクトを設定する方法について説明します。

要件および制約事項

レイヤ2 VPN にクロスコネクト回線を設定する前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- CE ルータと PE ルータは MPLS ネットワークで動作するように設定されています。
- クロスコネクト回線の名前が PE のペアを識別するように設定されており、クロスコネクトグループ内で一意である必要があります。
- セグメント（接続回線または疑似回線）は一意であり、単一のクロスコネクト回線にのみ属することができます。
- スタティック仮想回線のローカルラベルはグローバルに一意であり、1つの疑似回線にのみ使用できます。
- PE ルータ ごとに最大 4000 のクロスコネクトを設定できます。

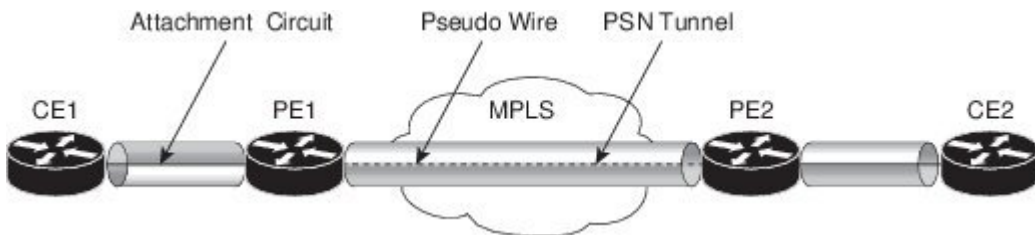


(注) スタティック疑似回線接続はシグナリングに LDP を使用しません。

トポロジ

レイヤ 2 VPN にスタティック クロスコネクト回線を設定するには、次のトポロジを使用します。

図 5: レイヤ 2 VPN のスタティック クロスコネクト回線



設定

```

/* Configure PE1 */
Router# configure
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# xconnect group XCON1
Router(config-l2vpn-xc)# p2p xc1
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# interface gigabitethernet0/1/0/0.1
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# neighbor 10.165.100.151 pw-id 100
Router(config-l2vpn-xc-p2p-pw)# mpls static label local 50 remote 40
Router(config-l2vpn-xc-p2p-pw)# commit

/*Configure PE2 */
Router# configure
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# xconnect group XCON1
Router(config-l2vpn-xc)# p2p xc1
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# interface gigabitethernet0/2/0/0.4
Router(config-l2vpn-xc-p2p)# neighbor 10.165.200.254 pw-id 100
Router(config-l2vpn-xc-p2p-pw)# mpls static label local 40 remote 50
Router(config-l2vpn-xc-p2p-pw)# commit

```

実行コンフィギュレーション

```

/* On PE1 */
!
l2vpn
xconnect group XCON1
p2p xc1
interface GigabitEthernet0/1/0/0.1
neighbor ipv4 10.165.100.151 pw-id 100
mpls static label local 50 remote 40
!

/* On PE2 */
!
l2vpn
xconnect group XCON2

```

```
p2p xc1
interface GigabitEthernet0/2/0/0.4
neighbor ipv4 10.165.200.254 pw-id 100
mpls static label local 40 remote 50
!
```

確認

```
/* Verify the static cross connect on PE1 */
```

```
Router# show l2vpn xconnect
Tue Apr 12 20:18:02.971 IST
Legend: ST = State, UP = Up, DN = Down, AD = Admin Down, UR = Unresolved,
        SB = Standby, SR = Standby Ready, (PP) = Partially Programmed
```

XConnect Group	Name	ST	Segment 1 Description	ST	Segment 2 Description	ST
XCON1	xc1	UP	Gi0/1/0/0.1	UP	10.165.100.151 100	UP

```
/* Verify the static cross connect on PE2 */
```

```
Router# show l2vpn xconnect
Tue Apr 12 20:18:02.971 IST
Legend: ST = State, UP = Up, DN = Down, AD = Admin Down, UR = Unresolved,
        SB = Standby, SR = Standby Ready, (PP) = Partially Programmed
```

XConnect Group	Name	ST	Segment 1 Description	ST	Segment 2 Description	ST
XCON2	xc1	UP	Gi0/2/0/0.4	UP	10.165.200.254 100	UP

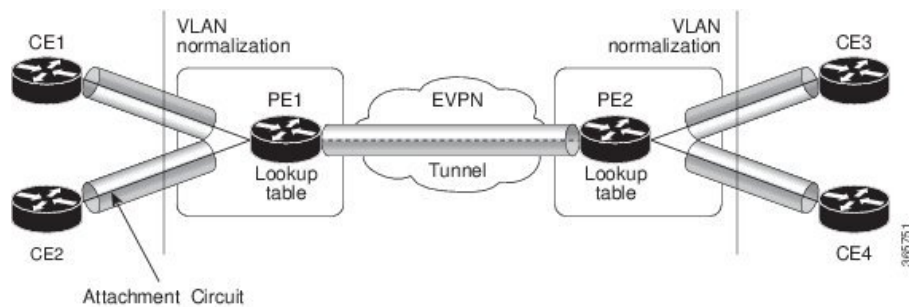
フレキシブルクロスコネク ト サービス

フレキシブルクロスコネク ト サービス機能では、同じプロバイダーエッジ (PE) 上の単一のイーサネット VPN 仮想プライベート ワイヤ サービス (EVPN-VPWS) サービス内の複数のエンドポイントにわたって接続回線 (AC) を集約することができます。AC は、一重 VLAN タグか、または二重 VLAN タグのいずれかで表されます。リモート PE 上の同じ VLAN タグで関連付けられた AC がクロスコネク ト です。VLAN タグは、インターフェイス上のフレームを適切なサービス インスタンスにマッピングするために使用する一致基準を定義します。その結果、ルックアップ テーブルを作成するには、VLAN 書き換え値がフレキシブルクロスコネク ト (FXC) インスタンス内で一意である必要があります。VLAN タグは書き換え設定を使用して一意に作成できます。ルックアップ テーブルは、対応する宛先 AC にトラフィックを転送するために取るパスの決定に役立ちます。この機能は、多くのインターフェイスにわたって VLAN を多重化することで、トンネル数を削減します。また、ルータが使用する MPLS ラベル数も削減します。この機能は、シングルホーミングとマルチホーミングの両方をサポートします。

フレキシブルクロスコネク ト サービス : シングルホーム

AC を通じた CE1 と CE2 から PE1 へのトラフィック フローの次のトポロジを考えてみます。AC は同じ PE1 上の複数のエンドポイント全体にわたって集約されています。VLAN (書き換え) は、PE1 上の AC インターフェイスに設定されている書き換えに基づいてルックアップ テーブルを作成します。PE1 は BGP を使用して PE2 とルートを交換し、EVPN MPLS ネットワーク上にトンネルを作成します。PE2 の VLAN (書き換え) は、PE1 に設定されている書き換えと一致している必要があります。書き換えタグに基づいて、PE2 はトラフィックを対応する AC に転送します。たとえば、CE1 と CE2 の AC が同じ書き換えタグで設定されている場合、エンドツーエンドトラフィックは CE1 から CE3 に送信されます。

図 6: フレキシブルクロスコネク ト サービス

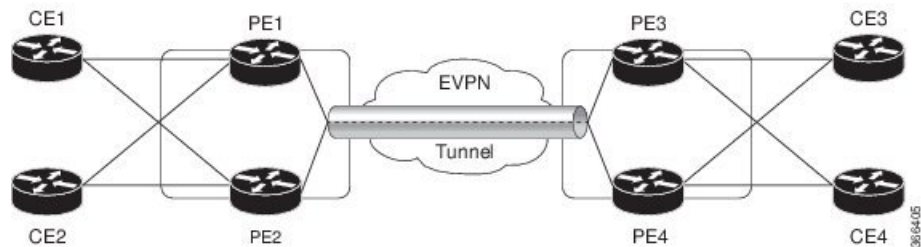


フレキシブルクロスコネク ト サービス : マルチホーム

フレキシブルクロスコネク ト サービスのマルチホーミング機能では、カスタマーエッジ (CE) デバイスを 2 台以上のプロバイダーエッジ (PE) デバイスに接続し、ロードバランシングと冗長接続を提供します。PE と CE 間のトラフィックの送信にフローベースのロードバランシングが使用されます。送信元とリモートの PE の接続にもフローベースのロードバランシングが使用されます。カスタマーエッジデバイスは、イーサネットバンドルインターフェイスを通じて PE に接続されます。

CE デバイスが 2 つ以上の PE のマルチホームで、すべての PE が VLAN のマルチホーム デバイスとの間で発着信するトラフィックを転送できる場合のマルチホーミングをオールアクティブマルチホーミングと呼びます。

図 7: フレキシブルクロスコネク ト サービス マルチホーム



CE1 と CE2 が PE1 と PE2 のマルチホームで、CE3 と CE4 が PE3 と PE4 のマルチホームであるトポロジを考えてみます。PE1 と PE2 はイーサネット A-D のイーサネット接続 (ES-EAD)

ルートをリモート PE、つまり PE3 と PE4 にアドバタイズします。同様に、PE3 と PE4 は ES-EAD ルートをリモート PE、つまり PE1 と PE2 にアドバタイズします。ES-EAD ルートはメイン インターフェイスごとにアドバタイズされます。

CE1 から CE3 へのトラフィック フローを考えてみます。PE1 または PE2 のいずれかにトラフィックが送信されます。パスの選択は、LAG を介して転送する CE の実装によって異なります。トラフィックは各 PE でカプセル化され、MPLS トンネルを通じてリモート PE (PE3 と PE4) に転送されます。宛先 PE の選択は、フローベースのロード バランシングによって確立されます。PE3 と PE4 は CE3 にトラフィックを送信します。PE3 または PE4 から CE3 へのパスの選択は、フローベースのロードバランシングによって確立されます。

フレキシブルクロスコネク ト サービス サポート対象モード

フレキシブル クロスコネク ト サービス機能は、次のモードをサポートしています

- VLAN 非対応
- VLAN 対応
- ローカル スイッチング

VLAN 非対応

この動作モードでは、単一のエンドポイントまたはインターフェイス宛の単一の ES 上で正規化されている AC のグループは、単一の VPWS サービス ID で表される単一の EVPN VPWS トンネルに多重化されます。VLAN 非対応 FXC は、BGP の状態の数を低減します。VLAN 障害は、BGP を介して通知されません。AC ごとではなく、VLAN 非対応 FXC ごとに1つの EVI/EAD ルートがアドバタイズされます。マルチホーミング シナリオでは、ES-EAD ルートもあります。EVI は他の VLAN 非対応 FXC または EVPN VPWS と共有できます。AC が PE1 上でダウンした場合、リモート PE には障害が通知されず、PE3 または PE4 はトラフィックを PE1 と PE2 に送信し続けた結果、パケットがドロップされます。

マルチホーミングは、すべての AC が同じメインインターフェイスに属している場合にのみ、VLAN 非対応 FXC でサポートされます。

VLAN 非対応を使用したシングルホーム フレキシブル クロスコネク ト サービスの設定

この項では、VLAN 非対応を使用してシングルホーム フレキシブル クロスコネク ト サービスを設定する方法について説明します。

```
/* Configure PE1 */
Router# configure
Router(config)# interface GigabitEthernet 0/2/0/3.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 500 second-dot1q
100 symmetric
```

```

Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# interface GigabitEthernet 0/2/0/0.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 600 second-dot1q
200 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-unaware fxs1
Router(config-l2vpn-fxs-vu)# interface GigabitEthernet 0/2/0/3.1
Router(config-l2vpn-fxs-vu)# interface GigabitEthernet 0/2/0/0.1
Router(config-l2vpn-fxs-vu)# neighbor evpn evi 1 target 1
Router(config-l2vpn-fxs-vu)# commit

/* Configure PE2 */
Router# configure
Router(config)# interface GigabitEthernet 0/0/0/3.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 500 second-dot1q
100 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# interface GigabitEthernet 0/0/0/0.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 600 second-dot1q
200 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-unaware fxs1
Router(config-l2vpn-fxs-vu)# interface GigabitEthernet 0/0/0/3.1
Router(config-l2vpn-fxs-vu)# interface GigabitEthernet 0/0/0/0.1
Router(config-l2vpn-fxs-vu)# neighbor evpn evi 1 target 1
Router(config-l2vpn-fxs-vu)# commit

```

実行コンフィギュレーション

```

/* On PE1 */
!
Configure
interface GigabitEthernet 0/2/0/3.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 500 second-dot1q 100 symmetric
!

Configure
interface GigabitEthernet 0/2/0/0.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 600 second-dot1q 200 symmetric
!

l2vpn
  flexible-xconnect-service vlan-unaware fxs1
  interface GigabitEthernet 0/2/0/3.1
  interface GigabitEthernet0/2/0/0.1
  neighbor evpn evi 1 target 1

!

/* On PE2 */
!
Configure

```

```

interface GigabitEthernet 0/0/0/3.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 500 second-dot1q 100 symmetric
!

Configure
interface GigabitEthernet 0/0/0/0.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 600 second-dot1q 200 symmetric
!

l2vpn
  flexible-xconnect-service vlan-unaware fxs1
  interface GigabitEthernet 0/0/0/3.1
  interface GigabitEthernet0/0/0/0.1
  neighbor evpn evi 1 target 1
!

```

VLAN 非対応を使用したマルチホーム フレキシブル クロスコネク ト サービスの設定

この項では、VLAN 非対応を使用してマルチホーム フレキシブル クロスコネク ト サービスを設定する方法について説明します。

```

/* Configure PE1 */
Router# configure
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-unaware fxc1_16
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether10.11
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether10.12
Router(config-l2vpn-fxs)# neighbor evpn evi 1 target 16
Router(config-l2vpn-fxs)# commit
Router(config-l2vpn-fxs)# exit
Router(config-l2vpn)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether10.11 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether10.12 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 2
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric
Router(config-subif)# commit
Router(config-subif)# exit
Router(config)# evpn
Router (config-evpn)# interface Bundle-Ether10
Router (config-evpn-ac)# ethernet-segment
Router (config-evpn-ac-es)# identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.0a.00
Router (config-evpn-ac-es)# commit

/* Configure PE2 */
Router# configure
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-unaware fxc1_16
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether10.11
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether10.12
Router(config-l2vpn-fxs)# neighbor evpn evi 1 target 16
Router(config-l2vpn-fxs)# commit
Router(config-l2vpn-fxs)# exit
Router(config-l2vpn)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether10.11 l2transport

```

```

Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether10.12 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 2
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric
Router(config-subif)# commit
Router(config-subif)# exit
Router(config)# evpn
Router (config-evpn)# interface Bundle-Ether10
Router (config-evpn-ac)# ethernet-segment
Router (config-evpn-ac-es)# identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.0a.00
Router (config-evpn-ac-es)# commit

/* Configure PE3 */
Router# configure
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-unaware fxc1_16
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether20.11
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether20.12
Router(config-l2vpn-fxs)# neighbor evpn evi 1 target 16
Router(config-l2vpn-fxs)# commit
Router(config-l2vpn-fxs)# exit
Router(config-l2vpn)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether20.11 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-subif)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether20.12 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 2
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-subif)# exit
Router(config)# evpn
Router (config-evpn)# interface Bundle-Ether20
Router (config-evpn-ac)# ethernet-segment
Router (config-evpn-ac-es)# identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.14.00
Router (config-evpn-ac-es)# commit

/* Configure PE4 */
Router# configure
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-unaware fxc1_16
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether20.11
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether20.12
Router(config-l2vpn-fxs)# neighbor evpn evi 1 target 16
Router(config-l2vpn-fxs)# commit
Router(config-l2vpn-fxs)# exit
Router(config-l2vpn)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether20.11 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-subif)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether20.12 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 2
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-subif)# exit
Router(config)# evpn
Router (config-evpn)# interface Bundle-Ether20

```

```
Router (config-evpn-ac)# ethernet-segment
Router (config-evpn-ac-es)# identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.14.00
Router (config-evpn-ac-es)# commit
```

実行コンフィギュレーション

```
/* On PE1 */

configure
l2vpn
flexible-xconnect-service vlan-unaware fxc1_16
interface Bundle-Ether10.11
interface Bundle-Ether10.12
neighbor evpn evi 1 target 16

!

configure
interface Bundle-Ether10.11 l2transport
encapsulation dot1q 1
rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric

!

configure
interface Bundle-Ether10.12 l2transport
encapsulation dot1q 2
rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric

!

evpn
interface Bundle-Ether10
ethernet-segment identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.0a.00

!

/* On PE2 */

configure
l2vpn
flexible-xconnect-service vlan-unaware fxc1_16
interface Bundle-Ether10.11
interface Bundle-Ether10.12
neighbor evpn evi 1 target 16

!

configure
interface Bundle-Ether10.11 l2transport
encapsulation dot1q 1
rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric

!

configure
interface Bundle-Ether10.12 l2transport
encapsulation dot1q 2
rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric

!
```



```
evpn
  interface Bundle-Ether10
    ethernet-segment identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.0a.00
!
/* On PE3 */
configure
l2vpn
flexible-xconnect-service vlan-unaware fxc1_16
  interface Bundle-Ether20.11
  interface Bundle-Ether20.12
  neighbor evpn evi 1 target 16
!
configure
interface Bundle-Ether20.11 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric
!
configure
interface Bundle-Ether20.12 l2transport
  encapsulation dot1q 2
  rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric
!
evpn
  interface Bundle-Ether20
    ethernet-segment identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.14.00
!
/* On PE4 */
configure
l2vpn
flexible-xconnect-service vlan-unaware fxc1_16
  interface Bundle-Ether20.11
  interface Bundle-Ether20.12
  neighbor evpn evi 1 target 16
!
configure
interface Bundle-Ether20.11 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric
!
configure
interface Bundle-Ether20.12 l2transport
  encapsulation dot1q 2
  rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric
!
evpn
```

```
interface Bundle-Ether20
  ethernet-segment identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.14.00
!
```

VLAN 対応

この動作モードでは、さまざまなイーサネットセグメントやインターフェイス全体にわたって正規化された AC を単一の EVPN VPWS サービス トンネルに多重化します。この単一のトンネルは、多くの VPWS サービス ID（正規化された VLAN ID (VID) ごとに1つ）によって表され、これらの正規化された VID は EVPN BGP を使用して通知されます。VLAN 対応の FXC は PW の数を削減しますが、BGP の状態は低減しません。VLAN 障害は、BGP を介して通知されます。VLAN 対応の FXC は FXC ごとではなく、AC ごとに1つの EAD ルートをアドバタイズします。VLAN 対応の FXC の場合、EVI は FXC 自体に一意である必要があります。FXC、EVPN、EVPN-VPWS、PBB-EVPN などの他のサービスと共有できません。PE 上で単一の AC がダウンした場合、その AC に関連付けられている EAD ルートのみを撤回します。メインインターフェイスの障害時には ES-EAD ルートも撤回されます。PE3 または PE4 上の等コストマルチパス (ECMP) は、この AC から PE1 へのトラフィックの送信を中止し、PE2 にのみトラフィックを送信します。

VLAN 対応を使用したシングルホーム フレキシブル クロスコネクタの設定

この項では、VLAN 対応を使用してシングルホーム フレキシブル クロスコネクタ サービスを設定する方法について説明します。

```
/* Configure PE1 */
Router# configure
Router(config)# interface GigabitEthernet 0/2/0/7.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 500 second-dot1q
100 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# interface GigabitEthernet 0/2/0/7.2 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 2
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 600 second-dot1q
200 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-aware evi 4
Router(config-l2vpn-fxs)# interface GigabitEthernet 0/2/0/7.1
Router(config-l2vpn-fxs)# interface GigabitEthernet 0/2/0/7.2
Router(config-l2vpn-fxs)# commit

/* Configure PE2 */
Router# configure
Router(config)# interface GigabitEthernet 0/0/0/7.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 500 second-dot1q
100 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# interface GigabitEthernet 0/0/0/7.2 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 2
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 600 second-dot1q
```

```

200 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-aware evi 4
Router(config-l2vpn-fxs)# interface GigabitEthernet 0/0/0/7.1
Router(config-l2vpn-fxs)# interface GigabitEthernet 0/0/0/7.2
Router(config-l2vpn-fxs)# commit

```

実行コンフィギュレーション

```

/* On PE1 */
!
Configure
interface GigabitEthernet 0/2/0/7.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 500 second-dot1q 100 symmetric
!

Configure
interface GigabitEthernet 0/2/0/7.2 l2transport
  encapsulation dot1q 2
  rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 600 second-dot1q 200 symmetric
!

l2vpn
flexible-xconnect-service vlan-aware evi 4
  interface GigabitEthernet 0/2/0/7.1
  interface GigabitEthernet 0/2/0/7.2

!

/* On PE2 */
!
Configure
interface GigabitEthernet 0/0/0/7.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 500 second-dot1q 100 symmetric
!

Configure
interface GigabitEthernet 0/0/0/7.2 l2transport
  encapsulation dot1q 2
  rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 600 second-dot1q 200 symmetric
!

l2vpn
flexible-xconnect-service vlan-aware evi 4
  interface GigabitEthernet 0/0/0/7.1
  interface GigabitEthernet 0/0/0/7.2

!

```

VLAN 対応を使用したマルチホーム フレキシブル クロスコネク ト サービスの設定

この項では、VLAN 対応を使用してマルチホーム フレキシブル クロスコネク ト サービスを設定する方法について説明します。

```

/* Configure PE1 */
Router# configure
Router(config)# l2vpn

```

```

Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-aware evi 6
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether2.1
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether3.1
Router(config-l2vpn-fxs)# commit
Router(config-l2vpn-fxs)# exit
Router(config-l2vpn)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether2.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether3.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 2
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# evpn
Router(config-evpn)# interface Bundle-Ether2
Router(config-evpn-ac)# ethernet-segment
Router(config-evpn-ac-es)# identifier type 0 22.33.44.55.66.77.88.99.aa
Router(config-evpn-ac-es)# commit
Router(config-evpn-ac-es)# exit
Router(config-evpn-ac)# exit
Router(config-evpn)# interface Bundle-Ether3
Router(config-evpn-ac)# ethernet-segment
Router(config-evpn-ac-es)# identifier type 0 33.44.55.66.77.88.99.aa.bb
Router(config-evpn-ac-es)# commit

/* Configure PE2 */
Router# configure
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-aware evi 6
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether2.1
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether3.1
Router(config-l2vpn-fxs)# commit
Router(config-l2vpn-fxs)# exit
Router(config-l2vpn)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether2.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether3.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 2
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# evpn
Router(config-evpn)# interface Bundle-Ether2
Router(config-evpn-ac)# ethernet-segment
Router(config-evpn-ac-es)# identifier type 0 22.33.44.55.66.77.88.99.aa
Router(config-evpn-ac-es)# commit
Router(config-evpn-ac-es)# exit
Router(config-evpn-ac)# exit
Router(config-evpn)# interface Bundle-Ether3
Router(config-evpn-ac)# ethernet-segment
Router(config-evpn-ac-es)# identifier type 0 33.44.55.66.77.88.99.aa.bb
Router(config-evpn-ac-es)# commit

/* Configure PE3 */
Router# configure
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-aware evi 6

```

```

Router(config-l2vpn-fxs) # interface Bundle-Ether4.1
Router(config-l2vpn-fxs) # interface Bundle-Ether5.1
Router(config-l2vpn-fxs) # commit
Router(config-l2vpn-fxs) # exit
Router(config-l2vpn) # exit
Router(config) # interface Bundle-Ether4.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif) # encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif) # rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric
Router(config-l2vpn-subif) # commit
Router(config-l2vpn-subif) # exit
Router(config) # interface Bundle-Ether5.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif) # encapsulation dot1q 2
Router(config-l2vpn-subif) # rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric
Router(config-l2vpn-subif) # commit
Router(config-l2vpn-subif) # exit
Router(config) # evpn
Router(config-evpn) # interface Bundle-Ether4
Router(config-evpn-ac) # ethernet-segment
Router(config-evpn-ac-es) # identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.14.00
Router(config-evpn-ac-es) # commit
Router(config-evpn-ac-es) # exit
Router(config-evpn-ac) # exit
Router(config-evpn) # interface Bundle-Ether5
Router(config-evpn-ac) # ethernet-segment
Router(config-evpn-ac-es) # identifier type identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.15.00
Router(config-evpn-ac-es) # commit

/* Configure PE4 */
Router# configure
Router(config) # l2vpn
Router(config-l2vpn) # flexible-xconnect-service vlan-aware evi 6
Router(config-l2vpn-fxs) # interface Bundle-Ether4.1
Router(config-l2vpn-fxs) # interface Bundle-Ether5.1
Router(config-l2vpn-fxs) # commit
Router(config-l2vpn-fxs) # exit
Router(config-l2vpn) # exit
Router(config) # interface Bundle-Ether4.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif) # encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif) # rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric
Router(config-l2vpn-subif) # commit
Router(config-l2vpn-subif) # exit
Router(config) # interface Bundle-Ether5.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif) # encapsulation dot1q 2
Router(config-l2vpn-subif) # rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric
Router(config-l2vpn-subif) # commit
Router(config-l2vpn-subif) # exit
Router(config) # evpn
Router(config-evpn) # interface Bundle-Ether4
Router(config-evpn-ac) # ethernet-segment
Router config-evpn-ac-es) # identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.14.00
Router(config-evpn-ac-es) # commit
Router(config-evpn-ac-es) # exit
Router(config-evpn-ac) # exit
Router(config-evpn) # interface Bundle-Ether5
Router(config-evpn-ac) # ethernet-segment
Router(config-evpn-ac-es) # identifier type identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.15.00
Router(config-evpn-ac-es) # commit

```

実行コンフィギュレーション

```

/* On PE1 */
!
configure

```

```

l2vpn
flexible-xconnect-service vlan-aware evi 6
  interface Bundle-Ether2.1
  interface Bundle-Ether3.1

!

configure
interface Bundle-Ether2.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric

!

configure
interface Bundle-Ether3.1 l2transport
  encapsulation dot1q 2
  rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric

!

evpn
interface Bundle-Ether2
  ethernet-segment identifier type 0 22.33.44.55.66.77.88.99.aa
interface Bundle-Ether3
  ethernet-segment identifier type 0 33.44.55.66.77.88.99.aa.bb

!

/* On PE2 */
!
configure
l2vpn
flexible-xconnect-service vlan-aware evi 6
  interface Bundle-Ether2.1
  interface Bundle-Ether3.1

!

configure
interface Bundle-Ether2.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric

!

configure
interface Bundle-Ether3.1 l2transport
  encapsulation dot1q 2
  rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric

!

evpn
interface Bundle-Ether2
  ethernet-segment identifier type 0 22.33.44.55.66.77.88.99.aa
interface Bundle-Ether3
  ethernet-segment identifier type 0 33.44.55.66.77.88.99.aa.bb

!

/* On PE3 */
!
configure
l2vpn
flexible-xconnect-service vlan-aware evi 6

```

```
interface Bundle-Ether4.1
interface Bundle-Ether5.1

!

configure
interface Bundle-Ether4.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric

!

configure
interface Bundle-Ether5.1 l2transport
  encapsulation dot1q 2
  rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric

!

evpn
interface Bundle-Ether4
  ethernet-segment identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.14.00
interface Bundle-Ether5
  ethernet-segment identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.15.00

!

/* On PE4 */
!
configure
l2vpn
flexible-xconnect-service vlan-aware evi 6
interface Bundle-Ether4.1
interface Bundle-Ether5.1

!

configure
interface Bundle-Ether4.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 11 symmetric

!

configure
interface Bundle-Ether5.1 l2transport
  encapsulation dot1q 2
  rewrite ingress tag translate 1-to-1 dot1q 12 symmetric

!

evpn
interface Bundle-Ether4
  ethernet-segment identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.14.00
interface Bundle-Ether5
  ethernet-segment identifier type 0 00.01.00.ac.ce.55.00.15.00

!
```

ローカルスイッチング

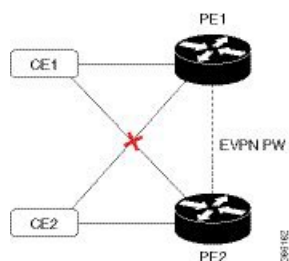
異なるイーサネットセグメントに属している2つのACに同じ正規化VLANがある場合、2つのAC間のトラフィックはPE内でローカルに切り替えられます。ローカルスイッチングはFXC VLAN対応でのみサポートされています。

CE1とCE2に異なるイーサネットセグメントがあるトポロジを考えてみます。ただし、それらは両方とも、正規化された同じVLANです。したがって、トラフィックがCE1からCE2に送信されると、PE1はローカルスイッチングを使用してトラフィックをCE2にルーティングします。

障害があり、CE1からPE1へのリンクがダウンする場合、PE1はEVPN疑似回線を通じてトラフィックをPE2に送信します。次に、PE2がそのトラフィックをCE2に送信します。

CE1とCE2は異なるESIを持っている必要があります。

図 8: ローカルスイッチング



ローカルスイッチングを使用したマルチホームフレキシブルクロスコネクタサービスの設定

この項では、ローカルスイッチングを使用してマルチホームフレキシブルクロスコネクタサービスを設定する方法について説明します。

```

/* Configure PE1 */
Router# configure
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-aware evi 6
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether2.1
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether3.1
Router(config-l2vpn-fxs)# commit
Router(config-l2vpn-fxs)# exit
Router(config-l2vpn)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether2.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 3 second-dot1q 3
symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether3.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 3 second-dot1q 3
symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# evpn

```



```

Router(config-evpn)# interface Bundle-Ether2
Router(config-evpn-ac)# ethernet-segment
Router(config-evpn-ac-es)# identifier type 0 22.33.44.55.66.77.88.99.aa
Router(config-evpn-ac-es)# commit
Router(config-evpn-ac-es)# exit
Router(config-evpn-ac)# exit
Router(config-evpn)# interface Bundle-Ether3
Router(config-evpn-ac)# ethernet-segment
Router(config-evpn-ac-es)# identifier type 0 33.44.55.66.77.88.99.aa.bb
Router(config-evpn-ac-es)# commit

/* Configure PE2 */
Router# configure
Router(config)# l2vpn
Router(config-l2vpn)# flexible-xconnect-service vlan-aware evi 6
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether2.1
Router(config-l2vpn-fxs)# interface Bundle-Ether3.1
Router(config-l2vpn-fxs)# commit
Router(config-l2vpn-fxs)# exit
Router(config-l2vpn)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether2.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 3 second-dot1q 3
symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# interface Bundle-Ether3.1 l2transport
Router(config-l2vpn-subif)# encapsulation dot1q 1
Router(config-l2vpn-subif)# rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 3 second-dot1q 3
symmetric
Router(config-l2vpn-subif)# commit
Router(config-l2vpn-subif)# exit
Router(config)# evpn
Router(config-evpn)# interface Bundle-Ether2
Router(config-evpn-ac)# ethernet-segment
Router(config-evpn-ac-es)# identifier type 0 22.33.44.55.66.77.88.99.aa
Router(config-evpn-ac-es)# commit
Router(config-evpn-ac-es)# exit
Router(config-evpn-ac)# exit
Router(config-evpn)# interface Bundle-Ether3
Router(config-evpn-ac)# ethernet-segment
Router(config-evpn-ac-es)# identifier type 0 33.44.55.66.77.88.99.aa.bb
Router(config-evpn-ac-es)# commit

```

実行コンフィギュレーション

```

/* On PE1 */

configure
l2vpn
flexible-xconnect-service vlan-aware evi 6
interface Bundle-Ether2.1
interface Bundle-Ether3.1

!

configure
interface Bundle-Ether2.1 l2transport
encapsulation dot1q 1
rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 3 second-dot1q 3 symmetric

!

```

```

configure
interface Bundle-Ether3.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 3 second-dot1q 3 symmetric
!

evpn
interface Bundle-Ether2
  ethernet-segment identifier type 0 22.33.44.55.66.77.88.99.aa
interface Bundle-Ether3
  ethernet-segment identifier type 0 33.44.55.66.77.88.99.aa.bb

!

/* On PE2 */

configure
l2vpn
flexible-xconnect-service vlan-aware evi 6
  interface Bundle-Ether2.1
  interface Bundle-Ether3.1

!

configure
interface Bundle-Ether2.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 3 second-dot1q 3 symmetric

!

configure
interface Bundle-Ether3.1 l2transport
  encapsulation dot1q 1
  rewrite ingress tag translate 1-to-2 dot1q 3 second-dot1q 3 symmetric
!

evpn
interface Bundle-Ether2
  ethernet-segment identifier type 0 22.33.44.55.66.77.88.99.aa
interface Bundle-Ether3
  ethernet-segment identifier type 0 33.44.55.66.77.88.99.aa.bb

!

```

L2VPN での仮想回線接続検証

仮想回線接続性検証（VCCV）は、L2VPN の運用、管理、およびメンテナンス（OAM）機能であり、ネットワーク オペレータが、指定した疑似回線上で IP ベースのプロバイダー エッジ間（PE-to-PE）キープアライブ プロトコルを実行できるようにし、疑似回線データ パス転送で障害が発生しないようにします。ディスポジション PE は、指定した疑似回線に関連付けられる制御チャネルで VCCV パケットを受信します。疑似回線が各方向の PE 間で確立されると、VCCV に使用される制御チャネルタイプと接続検証タイプがネゴシエートされます。

2つのタイプのパケットが判定結果出力に着信します。

- タイプ 1：通常の Ethernet-over-MPLS (EoMPLS) データ パケットを指定します。これには、a) シグナリング時にネゴシエートした場合はインバウンドコントロールワード、および b) MPLS TTL 有効期限が含まれています。
- タイプ 2：ルータ アラート レベル (ラベル 0) を指定します。

Cisco NCS 540 シリーズ ルータはタイプ 1 のラベル スイッチド パス (LSP) VCCV パケットをサポートしています。VCCV エコー応答は IPv4 パケットとして送信されます。つまり、応答モードは IPv4 です。

Cisco NCS 540 シリーズ ルータ。

